

## 「手塚 治虫」を通して平和について考える

1 対象学年 小学6年生

2 ねらい

6年生は、戦争について1学期の国語科「川とノリオ」や2学期の社会科「世界に歩み出した日本」で扱う。しかし、これらの学習だけでは、以前に戦争があったことを知ることはできるが、平和を願う心を十分に育てることは難しいと考える。現在の生活の中にも、人と人との対立がある。このような対立の原因の一つに、お互い自分勝手な考えがあることに気付かせ、争いについて考えさせる。日本は第二次世界大戦後、現在に至るまで平和主義を掲げている。日本の未来を担っていく児童に、第三者的立場で争いについて考えさせることも大切である。そのため、以下の活動を通して、平和を願う心を育てていきたい。

本学級の児童は5年生の学芸会で「手塚治虫」の実話に基づいた「泣かなかった赤鬼」を演じている。そのため、「手塚治虫」に、親しみをもっている児童も多いと考える。漫画家として有名な「手塚治虫」は戦争体験者であり、「戦争反対」という思いをもっている。手塚治虫の反対する戦争についての理解をより深めるために、「焼け跡に立つ虹」を活用して、自分たちの住んでいる名古屋でも空襲があり、名古屋城や熱田神宮などの名所が焼けたことや今も残る戦争の傷跡、戦時中の食事など戦争の悲惨さについて伝えていく。「手塚治虫」の作品の中には、戦争（争い）をテーマに描かれたものが多く見られる。そこで、「手塚治虫」の作品であり、児童にとって親しみやすい漫画「ブラック・ジャック」を平和実践の教材とする。登場人物の気持ちを考え、登場人物になりきって主張を伝え合うことで、自分勝手な考えが争いにつながることに気付かせる。また、平和に問題を解決するために、ブラック・ジャックの立場でできることを考えさせることで、第三者的立場の重要性について気付かせる。

これらの活動を通して、自分勝手に物事を考えるのではなく、一人ひとりが互いを思いやり、認め合うことが大切であることや第三者的立場の人の役割が重要であると気付かせたい。また、一人ひとりがクラスの平和のためにできることについても考えさせていく。

### 3 題材の学習計画

時	テーマ	学習内容
1	戦争について知ろう	<ul style="list-style-type: none"><li>・戦争体験者である手塚治虫の『戦争はごめんだ』という言葉を紹介して、手塚治虫の平和への思いを知る。</li><li>・戦争についての理解を深めるために、実</li></ul>

		<p>際に戦争を体験した方の話を読み、戦争について知る。</p> <p>資料「焼け跡に立つ虹（題材名：学童疎開（二、空襲 三、食べ物）」</p>
2	<p>争いの原因について考えよう</p> <p>～漫画「ブラック・ジャック」を通して～</p>	<p>・手塚治虫の漫画を読み、登場人物であるシャチと漁師の主張を考え、伝え合うことで、自分勝手な考えが争いにつながることに気付かせる。</p> <p>資料「ブラック・ジャック（題材名：シャチの詩）」</p> <p>・授業を基に、自分たちがクラスの平和（争いがないこと）のためにできることを考えさせる。</p>
3 (本時)	<p>自分たちにできることについて考えよう</p> <p>～漫画「ブラック・ジャック」を通して～</p>	<p>・手塚治虫の漫画を読み、ブラック・ジャックの行動を提示して、平和に問題を解決するために、ブラック・ジャックの立場でできることを考える活動を通して、第三者的立場の人の重要性に気付かせる。</p> <p>資料「ブラック・ジャック（題材名：シャチの詩）」</p> <p>・授業を基に、自分たちがクラスの平和のためにできることを第三者的立場で考えさせる。</p>

#### 4 指導の流れ

##### 第1時

##### (1) 準備

手塚治虫写真、読み物資料：焼け跡に立つ虹『学童疎開（二、空襲 三、食べ物）』、戦争の被害が分かる写真（焼夷弾の雨、名古屋城炎上、肝油、いり豆、千年プロムナード、千種公園）、学習プリント

##### (2) 指導過程

時間配分	学習活動	指導上の留意点
10分	1 手塚治虫について知る。	○ 学習プリントを配布して、手塚治虫について知っていることを挙げさせる。

25分	2 焼け跡に立つ虹『学童疎開』を聞く。	<div data-bbox="411 264 1289 465" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【予想される児童の考え】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漫画家（ブラック・ジャック、リボンの騎士、鉄腕アトム）</li> <li>・学芸会で「泣かなかった赤鬼」を演じた。 ・いじめられていた。</li> <li>・戦争により、親友を失った。 ・戦争に嫌な思いをもっている。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 5年生の時、学芸会で演じた「泣かなかった赤鬼」は、手塚治虫の実体験に基づくものであることを知らせる。</li> <li>○ 手塚治虫『戦争はごめんだ』という言葉を紹介し、手塚治虫が戦争反対の立場を明言していることを知らせる。</li> <li>○ 名古屋城炎上の写真を提示して、何の写真か予想させることで児童に興味をもたせる。</li> <li>○ 手塚治虫が反対している戦争とはどういったものか体験者の話から捉えさせるため、資料を配布する。</li> <li>○ 被害状況や当時の食べ物等、補足として写真を提示しながら、教師が範読する。</li> <li>○ 名古屋に現在も残る戦争の跡の様子が分かる写真を提示し、戦争を身近に感じさせる。</li> </ul>
	10分	3 本時の感想を書く。

## 第2時

### (1) 準備

読み物資料：ブラック・ジャック『シャチの詩』、学習プリント、シャチと人間の挿絵

### (2) 指導過程

時間配分	学習活動	指導上の留意点
10分	1 読み物資料を読む。	○ 児童の前時の感想から「手塚治虫はどんな漫画を描いているのだろうか」という問いかけをし、興味をもたせる。
10分	2 争っているときのシャチや漁師の気持ちを考える。	○ 資料を配布して黙読させる。 ○ 四人一組のグループを作らせシャチの気持ちについて考えるグループと漁師の気持ちについて考えるグループに分ける。 ○ 学習プリントを配布して、考えを記入させる。 ○ 「シャチはなぜ漁場へ行くのか」という視点を与え、考えさせる。 ○ 「漁師はなぜ漁場へ行くのか」という視点を与え、考えさせる。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【予想される児童の考え】</b>            シャチ：漁場は自分の居場所だ！                      漁場が無くなったら、食べ物が無くなって死んでしまう。            漁師：タコつぼやヤギが被害にあっている。                      船を壊された。子どもも食われた。許せない。                      シャチに漁場をとられてたまるか！</p> </div>	
15分	3 クラスでシャチと漁師の気持ちを伝え合う。	○ それぞれのグループから代表者を出させ、伝え合わせる。 ○ 代表者以外の児童には、どちらの味方もせずに話を聞かせる。
5分	4 なぜ争いになったか考える。	○ 伝え合った内容や代表者以外の感想から、自分勝手な考えが争いにつながることに気付かせる。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【予想される児童の考え】</b>            ・シャチも漁師も自分の事しか考えていない。   ・お互い自分勝手。</p> </div>	




5分	3 本時の感想を書く。	○ 本時から思ったことや、クラスの平和（争いがないこと）のためにできることについて学習プリントに記入させる。
<p>【予想される児童の考え】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分勝手な考えが争いにつながるって戦争みたい。</li> <li>・自分の事ばかり考えてけんかになったことがある。これからは相手の事を考えて行動することが大切。</li> </ul>		

第3時

(1) 準備

読み物資料：ブラック・ジャック『シャチの詩』、拡大した挿絵、学習プリント、拡大したプリント

(2) 指導過程

時間配分	学習活動	指導上の留意点
5分          10分	1 前時の復習をする。      2 ブラック・ジャックの行動に着目して、争いが起こらない理想的な行動を考える。	○ 前時に配った資料を黙読させる。 ○ シャチと漁師の自分勝手な考えが争いにつながったことを想起させる。 ○ ブラック・ジャックの行動である三つの挿絵を提示して、グループ毎に考える場面を選ばせる。
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>①</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>②</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>③</p>  </div> </div>		
5分	(1) 個人で考える。	○ ブラック・ジャックの行動は理想的なものであったかと問いかけ、第三者の行動が大切なことを伝える。 ○ 学習プリントを配布し、ブラック・ジャックの理想的な行動を記入させる。
10分	(2) グループで考える。	○ 四人一組のグループを作らせる。

		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 友達の考えを聞き、ブラック・ジャックの行動に対するシャチや漁師の納得度について数値で記入させる。</li> <li>○ 拡大したプリントを配布し、交流した内容を基に、シャチも漁師も納得するブラック・ジャックの理想的な行動を記入させる。</li> </ul>
	<p><b>【予想される児童の考え】</b></p> <p>① 漁師にシャチのための漁場を作るよう提案する。シャチと漁師にお互い傷つけないように約束させる。</p> <p>② 漁師に、シャチは見た目で見えぬ心の優しさをもっていることを伝える。漁師にシャチを傷つけるのはやめるよう伝える。ブラック・ジャックがシャチに漁師を傷つけないよう伝えると約束をする。</p> <p>③ シャチを殺すのではなく、お互い漁場を譲り合って使うよう伝える。ブラック・ジャックが漁師の言い分をシャチに伝えると言う。</p>	
<p>10分</p> <p>5分</p>	<p>(3) グループの考えを発表する。</p> <p>3 感想を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ プリントを黒板に貼り、作ったブラック・ジャックの理想的な行動を説明させる。</li> <li>○ 現在、日本は平和主義の下、戦争を行っておらず、第三者的立場にあることを想起させる。</li> <li>○ 本時から思ったことや、第三者的立場でクラスの平和（争いが無いこと）のためにできることについて考えさせる。</li> </ul>
	<p><b>【予想される児童の考え】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスでけんかが起きているとき、見て見ぬふりをするのではなく、自分で何かできないか考えて行動することが大切である。</li> <li>・けんかは周りの人の行動にも影響される。</li> </ul>	

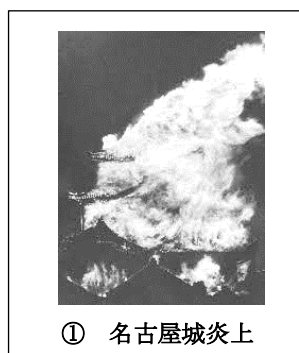
## 5 実践のまとめ

### 【1時間目】戦争について知ろう

授業の導入で「手塚治虫」の写真を提示した。すると児童からは「知っている。」や「学芸会で5年生の時に演じたことがある。」など次々と発言する様子が見られた。その後、「手塚治虫」について知っている事を挙げさせると、漫画家や戦争を体験した人などたくさんの意見が出た。これらの様子より、本学級の児童が「手塚治虫」に関心が高いことが分かった。その後、手塚治虫の「私にはただひとつ、これだけは断じて殺されても翻せない主義がある。それは戦争はごめんだということだ。」という言葉を紹介して、「手塚治虫がこれほどまで反対する戦争とはどのようなものか、もっと知ろう。」という本時の目標を伝えた。

初めに、名古屋城が燃えている写真(①)を提示して、「これは何か分かりますか?」と問いかけた。すると、児童からは「何かが燃えている。」「お寺かな?」「もしかして名古屋城?でも、そんなわけないよね。」という声が聞かれた。「これは空襲で名古屋城が燃えている様子です。」と伝えると、児童からは「えー!」という声が挙がり、驚きを隠せない様子が見られた。

その後、「実際に戦争を体験した人の話を読んでみよう。」と伝え、「焼け跡に立つ虹(学童疎開)」を、写真を提示しながら範読して、名古屋での空襲による被害や戦時中の食事について知らせた。身近な被害についての話であるため、熱心に話を聞く児童の姿が見られた。最後に、千年プロムナードや千種公園にある今も残る戦争の跡(②)を提示して、本時の感想を記入させた。



#### <本時の感想>

戦争はおそろしいと思った  
一九四五年三月十九日に名古屋城が  
もえたという事実におどろいた。

学童疎開から戦争は二度とおきてほしくない  
思いました  
戦時中は本当に大変だったことがわ  
かった。

毎日ぼんぼんが落ちてくる生活で苦しくて  
いるから、今のぼんぼんをたんとした  
名古屋もよぼんだんが落ちてたんだこと  
がよくなつた。

【2時間目】争いの原因について考えよう

～漫画「ブラック・ジャック」を通して～

前時の感想の一部を紹介した。「手塚治虫は戦争を題材にした作品が多くかかっているのか？」という感想から、「手塚治虫の漫画を読んでみよう。」と伝え、「手塚治虫の漫画」の漫画である、「ブラック・ジャック（シャチの詩）」を黙読させた。漫画を配布すると、「やった！」という声が挙がり、熱心に黙読する姿が見られた。(③)



③ 熱心に黙読する様子

この物語には、シャチと漁師の漁場争いや争いを知ったブラック・ジャックとシャチや漁師との関わりが描かれている。

黙読させた後、4人1組のグループを作らせ、争っているときのシャチの気持ちを考えるグループと漁師の気持ちを考えるグループに分けた。その後、それぞれの立場の代表者に気持ちを伝え合わせた。代表者以外の児童には中立的な立場で話し合いを聞かせた。

シャチ側の立場からは「ぼくは悪くない!」「エサが食べたいだけなのに...」「こんなケガをさせやがって。」などの気持ちを、漁師側の立場からは「子どもを殺された。」「職場を返せ。」「何をするか分からないから危険だ。」などの気持ちを熱心に伝える姿が見られた。(④)

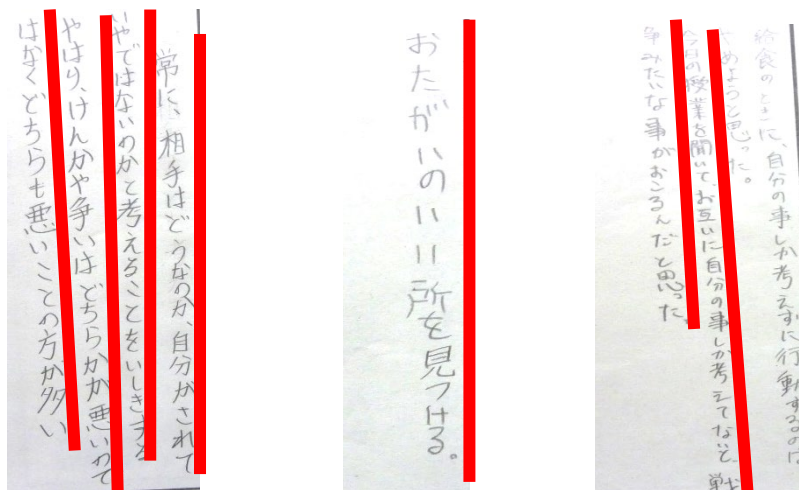


④ 気持ちを伝える様子

その後、中立的な立場の児童に「なぜ争いになったのだろう?」と尋ねると「シャチも漁師も自己中。」「お互い自分勝手。」といった意見が聞かれた。

最後に本時の感想や、本時の授業からクラスの平和のためにできることについて学習プリントに記入させた。

<本時の感想やクラスの平和（争いがないこと）のためにできること>



・「争い」と「戦争」を結び付けて考える児童が見られた。



【3時間目】自分たちにできることについて考えよう

～漫画「ブラック・ジャック」を通して～

ブラック・ジャックに関する3つの場面を提示して、ブラック・ジャックの行動は理想的なものであったかと問いかけた。すると、争いが起こってしまった事やシャチが死んでしまった事から、「理想的な行動ではなかったのではないか。」と答える児童が多く見られた。そこで、ブラック・ジャックの理想的な行動を考えさせた。

その後、4人1組のグループを作り、考えを交流させた。より理想的な行動を考えさせるため、シャチや漁師の納得度を数値で記入させる欄を作り、両者が納得のいくブラック・ジャックの理想的な行動を考えさせた。(⑤)

その後、グループの代表者に理想的な行動を発表させ、考えをクラスで交流させた。代表の児童からは「シャチが真珠を持ってきて、それと引き換えにシャチにエサをあげる。」

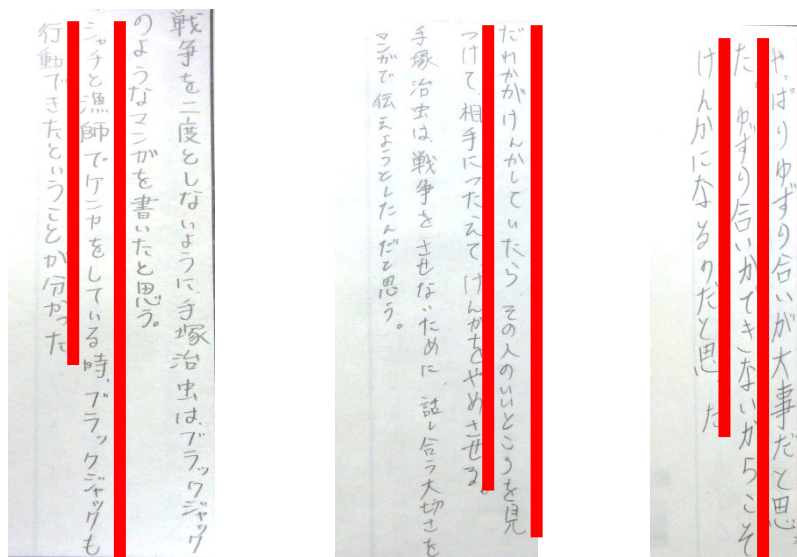
や「シャチに『もうそんなことはやめろ』と言ひ、漁師はシャチにエサをあげるようお願いする。」「シャチが違う漁場へ行き、魚を網に追い込み、余った魚をシャチにあげる。」などの両者に目を向けた意見が出た。

最後に、「現在日本は平和主義の下、戦争を行っておらず、第三者的立場である。」と伝え、本時から思ったことや本時の授業から第三者的立場でクラスの平和のためにできることについて学習プリントに記入させた。

名前 ( )	シャチ	漁師	○友達の考えを聞き、シャチと漁師の納得度を数値で記入させる欄を作り、両者が納得のいくブラック・ジャックの理想的な行動を考えさせた。(⑤)
納得度	3	2	
名前 ( )	シャチ	漁師	○友達の考えを聞き、シャチと漁師の納得度を数値で記入させる欄を作り、両者が納得のいくブラック・ジャックの理想的な行動を考えさせた。(⑤)
納得度	2	3	

⑤ シャチや漁師の納得度

〈本時の感想や第三者としてクラスの平和（争いがいいこと）のためにできること〉



- ・「ゆずり合いが大事」という記述から、2時間目と関連付けて考えている児童が見られた。

## 6 成果と課題

### (1) 成果

- ・児童にとって身近である「手塚治虫」や漫画「ブラック・ジャック」を教材化することで、児童から「知っている！」や「やった！」という声が聞かれた。これは、「手塚治虫」を教材化することは児童に関心をもたせるために有効であったためであると考ええる。
- ・1時間目の感想から、戦争の悲惨さを知ったという記述が多く見られた。これは、「焼け跡に立つ虹」を通して、身近な地域の生々しい被害を伝えたことが有効であったためであると考ええる。
- ・争いの原因の一つに「自分勝手」や「自己中」であることを児童が気付くことができた。これは、登場人物になりきって主張を伝え合う活動が有効であったためであると考ええる。
- ・ブラック・ジャックの行動がシャチや漁師優位の行動に偏らなかった。これは、それぞれの立場での納得度を数値で評価させたことが有効であったためであると考ええる。

### (2) 課題

- ・動物が好きだからという理由でシャチ優位に偏って考えてしまう児童が見られた。個別の手立てを講じていく必要があると考ええる。

## 6 実践を終えて

本実践では、「焼け跡に立つ虹」を使い戦争の悲惨さを知らせ、手塚治虫の作品である漫画「ブラック・ジャック」を教材化することで、争いの当事者や第三者の行動について考えさせた。戦争の悲惨さを知る場面では、名古屋城や熱田神宮など児童が知る名所や戦時中の不十分な食事、千年プロムナードや千種公園に今も残る戦争の跡を通して、戦争は二度と起こしてはいけないという気持ちを育てられた。争いの当事者の気持ちを考える場面では、登場人物になりきり気持ちを伝え合うことで、争いの原因の一つに自分勝手な行動があることに気付かせることができ、相手を思いやり、認め合う気持ちを育てることができた。第三者の行動を考える場面では、第三者でも争いを無くすためにできることがあり、譲り合いや放っておかないという気持ちを育てることができた。今後も平和を祈る児童を育てていきたい。